【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成16年9月24日(2004.9.24)

【公開番号】特開2000-358017(P2000-358017A)
【公開日】平成12年12月26日(2000.12.26)
【出願番号】特願平11-168636
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｌ　7/00
// Ｈ０４Ｎ　7/24
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｌ　7/00　　Ａ
　Ｈ０４Ｎ　7/13　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月10日(2003.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定のプロトコルを有する通信コントローラを介して複数の端末装置間でデジタルデータを送受信すると共に、上記通信コントローラにより規則的な間隔で基準信号を通信するようにしたデジタルデータの通信方法において、
上記各端末装置において夫々の動作クロックを上記基準信号に同調させ、この動作クロックに基づき上記デジタルデータに係る信号処理を行うことで、複数の端末装置の上記信号処理を同期化させることを特徴とするデジタルデータの通信方法。
【請求項２】
上記基準信号には時間に関するデータが含まれており、該時間データに基づいて上記動作クロックのタイミングを調整することを特徴とする請求項１記載のデジタルデータの通信方法。
【請求項３】
上記通信コントローラはＩＥＥＥ１３９４規格に準拠して規則的な間隔でデータ転送を行うアイソクロナス転送モードを有し、上記基準信号はアイソクロナス転送モードにおけるサイクルスタート信号であることを特徴とする請求項１又は２に記載のデジタルデータの通信方法。
【請求項４】
上記時間データはＩＥＥＥ１３９４規格に準拠したサイクルタイマデータであることを特徴とする請求項２又は３に記載のデジタルデータの通信方法。
【請求項５】
上記デジタルデータは、音声データや動画像データなどの時系列デジタルデータであり、第１の端末装置において上記動作クロックに基づきデジタルデータのエンコード処理を行う一方、該デジタルデータを第１の端末装置から第２の端末装置へ通信した後、第２の端末装置において上記動作クロックに基づきデジタルデータのデコード処理を行うことを特徴とする請求項１～４の何れかに記載のデジタルデータの通信方法。
【請求項６】
デジタルデータを所定のプロトコルに基づき通信すると共に所定の基準信号を規則的な間隔で通信する通信コントローラを備えた複数の端末装置と、これら複数の端末装置を上記

通信コントローラを介して接続する通信手段とを備え、上記複数の端末装置間でデジタルデータを送受信するデジタルデータの通信システムであって、
上記複数の端末装置には、夫々の動作クロックを上記基準信号に同調させる動作クロック同調手段と、上記動作クロックに基づき上記デジタルデータの信号処理を行う信号処理手段とが、それぞれ設けられていることを特徴とするデジタルデータの通信システム。
【請求項７】
デジタルデータを所定のプロトコルに基づき通信すると共に規則的な間隔で所定の基準信号を通信するように設定された通信コントローラと、所定の動作クロックを上記基準信号に同調させるクロック同調手段と、この動作クロックに基づき上記デジタルデータに関する信号処理を行う信号処理手段とを備え、当該信号処理を上記動作クロックに同期して行うように構成されてなることを特徴とする端末装置。
【請求項８】
上記基準信号には時間に関するデータが含まれており、該時間データに基づいて上記動作クロックのタイミングを補償する補償手段を備えていることを特徴とする請求項７記載の端末装置。
【請求項９】
上記通信コントローラはＩＥＥＥ１３９４規格に準拠して規則的な間隔でデータ転送を行うアイソクロナス転送モードを有し、上記基準信号はアイソクロナス転送モードにおけるサイクルスタート信号であることを特徴とする請求項７又は８に記載の端末装置。